

ご関係者各位

第6回先進燃料電池開発調査団

団長 児玉 皓雄

(元通産省電総研所長)

### 燃料電池セミナーのお知らせ

拝啓

日々暑さ厳しき折でございますが、皆様ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。本年度も、燃料電池セミナー（FC セミナー）が2007年10月15日から19日まで、米国テキサス州サンアントニオのコンベンションセンターで開催されます。このセミナーは毎年行われ、昨年は世界36カ国から約2,200名の参加があり、内日本からは230名強でした。

燃料電池が日欧米を中心に次世代を担うエネルギー源として期待されている今日、今年も更に参加者が増えるものと考えられます。

このセミナーは「公共事業としての燃料電池」「自家用としての燃料電池」「輸送手段に利用する燃料電池」「携帯用燃料電池」の4部門で構成されます。そしてその価格、備蓄方法、耐久性、適用度などが発表され討議されます。技術研究レポート、展示研究例も数多くあります。

ご承知の通り、当該セミナーは世界の燃料電池技術開発の最先端を一括して入手できる最大で最も歴史のある研究集会として位置づけられており、当初は米国エネルギー省によって1976年に開催されました「National Fuel Cell Seminar」まで遡ることが出来ます。今回も世界各国の政府研究機関、民間開発機関によるFC政策、最先端技術の開発、実用化計画等の状況が報告される予定になっております。

「先進燃料電池開発調査団」も今回で6回目を数え、当セミナーで発表された最新情報を網羅した報告書を作成いたします。また帰国後、参加団員間の実質的で多用な協業なども数多く展開されております。

尚、このセミナーの企画を作成するに当たり、東北大学大学院 名誉教授 内田 勇様、横浜国立大学 教授（日本水素エネルギー協会会長）太田健一郎様、長岡技術科学大学 教授 梅田 実様、新エネルギー環境技術委員会 委員長 渡辺隆夫様、並びに同協会前委員長 堀内長之様に格別のご指導を賜りました。又この度、上記の方々よりご推薦、ご紹介を頂きましたのでここにご案内申し上げます。

本年も奮ってご参加賜りたく、お申し込みお待ち申し上げます。

敬具

#### 先進燃料電池開発調査団の構成

- 団長** : 児玉皓雄（株式会社KRI 専務取締役  
元通産省工業技術院電子技術総合研究所所長）
- 副団長** : 堀内長之（電力中央研究所 名誉研究顧問  
株式会社電力テクノシステムズ 代表取締役社長）
- 最高顧問** : 内田 勇（東北大学名誉教授 工学博士  
社団法人電気化学会、電池技術委員会顧問）
- 顧問** : 梅田 実（長岡技術科学大学教授 工学博士  
前東北大学助教授 社団法人電気化学会国際交流委員）
- 事務局長** : 石川力男（株式会社電力テクノシステムズ 顧問）
- 団員** : 燃料電池研究メンバー並びに  
電力会社、ガス会社、電機メーカー、燃料電池関連企業、  
自動車メーカー、大学・大学研究機関など